

## 債務負担第 9 号

### 見附市タブレット端末用学習支援ソフト仕様書

- 1 品名 ミライシード（株式会社ベネッセコーポレーション）
- 2 構成
  - （1）個別学習ドリルソフト「ドリルパーク」
  - （2）協働学習支援ソフト「ムーブノート」（2026 年 3 月末終了）
  - （3）授業支援ソフト「オクリンク」（2026 年 3 月末終了）
  - （4）授業支援ソフト「オクリンクプラス」
  - （5）ICT 支援員による各種支援
- 3 使用場所：見附市内小・中 12 校（別紙、学校一覧）
- 4 使用台数：児童生徒端末 2,776 台
- 5 使用環境：OS：Chrome OS
- 6 使用期間：令和 7 年 3 月 1 日（土）から令和 13 年 3 月 31 日（月）
- 7 その他

本市担当者と調整し、本学習ソフトを各学校の教育活動で利用できる状態にすること。

本仕様書に記載のない事項または疑義のある事項については、双方で緊密な連絡を取り、調整・協議の上、定めるものとする。

## 【仕様】

### 1 ソフトの機能

個別学習に対応した「ドリル学習支援ソフト」、協働学習及び一斉学習に対応した「協働学習支援ソフト」、個別学習・協働学習・一斉学習それぞれの学習場面で活用できる「授業支援ソフト」

### 2 ICT支援員のサポート体制

学校の指導要領に基づき、市内小・中学校において、次のとおりICTに関する支援業務（従事する支援員の指導、研修、管理等を含む）を行う。

#### （1）訪問回数等

- ア 契約期間中、各学校に原則月 2 回訪問すること。
- イ 業務実施日は月～金曜日（土日祝祭、年末始・お盆休み は除く）。
- ウ 年間スケジュールを学校と調整し、提出すること。
- エ ICT 支援員は、担当校制とし、各校同一人物が訪問すること。
- オ ICT 支援員が不在の際の質問等は、情報担当の教員（窓口担当）がとりまとめ、次回訪問時に対応できるものとする。
- カ ICT支援員が病気等の事由により、訪問予定日に訪問できない場合は、速やかに担当校に連絡し、代替日など協議するものとする。
- キ 天災、インフルエンザ、その他の事情で緊急的な休校とした場合は、教育委員会が ICT 支援に寄与すると認めた活動（準備・教材作成等）により学校訪問の代替とする。
- ク I C T支援員の雇用状況、天災、その他やむを得ない事情が発生した場合は、発注者と受注者が協議して訪問回数を変更することができるものとする。

#### （2）勤務時間

勤務時間は、8時30分～16時30分の間で、7時間勤務、休憩1時間とする。

#### （3）管理業務

- ア 各小・中学校に ICT 支援員を配置し、ICT支援員が円滑に学校の支援を行えるよう ICT 支援員とは別にICT支援員業務統括責任者1名を設けること。
- イ ICT 支援員業務統括責任者は、全体を統括するコーディネータ的な役割を果

たし、ICT 支援員が十分に学校を行えるよう、ICT 支援員の管理、業務状況の把握、指示、指導、助言等の管理及びサポートを行うこと。

ウ ICT 支援員の配置後も、ICT 支援員業務統括責任者を中心に定期的な研修会を実施すること。

(4) ICT 支援員による業務支援員による業務

ア 授業支援

イ 研修支援

ウ 校務支援

エ 障害対応支援

オ 実績報告書の提出

① 月ごとに業務の実施状況を「実績報告書（月例報告書）」により、翌月 20 日までに市に提出すること

② 業務の実施にあたり作成したマニュアルや成果報告書等は、事前協議の上、教育委員会として成果物を使用又は複製公表することができる。

※ICT支援員の業務詳細については、教育委員会と協議の上、別途決定するものとする。

(5) 設定作業

ア 教育委員会と設定内容について協議し、各種設定を行うこと。

イ 市内小・中学校の児童生徒端末を使用できるよう設定すること。

ウ 現在使用しているアカウント情報を引き継いで使用できるよう設定すること。